

青於藍 あい ~藍よりも青く~

2016年5月31日発行 第3号
発行：福島県立相馬高等学校第1学年

中間考査終了、自らの意志で復習を！

試験にもいろいろあります。

高校入試は合格者を決めるためにあります。君たちは相馬高校の入学試験に見事合格して本校生になりました。では、入学後に行う定期考査は何のためにあるのでしょうか。合格者を決めるためでしょうか。ちょっと違いますよね。30点以上取れば「合格」と考える人はいないでしょう。もちろん、先生方が君たちを苦しめるためにやっているわけでもありません。

定期考査は、君たち自身がその時々自分の力を確認するためにあります。ですから試験を返されたときにまず確認しなければならないのは、30点を取れたかどうかではなく、自分はどこで点が取れなかったのか、どの分野の知識や理解が不足しているのか、またどういうケースでミスしやすいのかという点です。そういう見方に立ってもう一度返却された答案用紙を見て下さい。テストの解答欄一つ一つに今の自分自身が表れているはずですが、考査に限らず若いときには誰もが自分自身を知るためにもがき苦しみます。多くの人やものとぶつかりながら自分の大きさを確認し、大人に近づいていきます。もし「己自身を知る」ことなく大人になったら、中身はわがままな子どものままで、態度だけが大きい、嫌な大人になってしまいます。

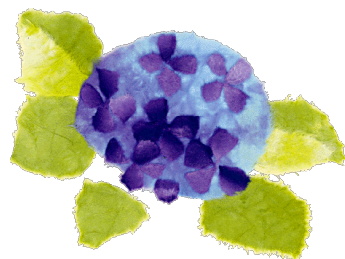
さて、話を元に戻しましょう。考査で自分の弱点を見つけたら次はどうすればよいのでしょうか。言うまでもないことですが、勉強するしかありません。試験で出来なかったところを復習するのです。「そんなことは言われなくてもわかっている」と君たちは言うでしょう。けれども、実際に試験後の復習に力を入れる人は多くはないと思います。大事だと思っていることと、それを行動に移すことの間には大きな壁があります。多くの方は適当な言い訳をつけて自分を納得させ行動に移すことなく終わりにします。つまり、壁は自分の中にあるのです。

入学式前に行われたオリエンテーションで、高校の学習で大切なのは「予習」だという話をしました。予習とは「予めやっておく学習」という意味ですが、違う言い方をすれば、自らの意志で困難に立ち向かおうとする意志の表れとも言えます。その意志は復習をする時にも大切です。君たちがやらなければならない復習は、先生に追いかけてやる復習ではなく、自らの意志で、自らの未来を切り開くための復習です。一か月後にはまた定期考査があります。二年半後には人生を大きく左右する入学試験、入社試験があります。予習と復習を繰り返し、階段を一步一步上がって下さい。

(1学年主任 升田邦弘)

6月の行事予定

1日(水)	衣替え
2日(木)	文理選択進路講演会 尿検査(二次)
3日(金)	高体連県大会による特別時間割(4校時授業)
6日(月)	〃
7日(火)	内科検診(3・4・5組)
13日(月)	内科検診(1・2組)
15日(水)	尿検査(三次)
16日(木)	歯科検診(1・2組)
21日(火)	性に関する講話
23日(木)	期末考査日割発表 歯科検診(3・4・5組)
30日(木)	期末考査(~7月6日まで)



文理選択に向けた進路講演会について

1学年では、4月に実施した文理適性検査の結果を先日全員に返却し、それをもとに将来の職業について考えてもらう授業を行いました。来る6月2日(木)には関連行事として進路講演会を実施します。講演会のテーマは「将来の仕事や学問をイメージしよう!」です。生徒諸君にはこの機会に本気で自分の将来について考えてもらおうと思います。2学期には普通科・理数科ともに来年度に向け、文理選択希望を取ることになります。最終確認後は変更できませんので、今のうちからご家庭でも話し合いを持っていただきたいと思います。

CSLによる進路講演会について

上記とは別に、今年度は他に3回の進路講演会を予定しています。講演会の実施にあたっては本来ならば講師料が発生するところですが、平成25年度以降被災地支援で立命館大学の倉石教授を中心とした団体CSLに無料で講師を派遣していただいています。今年度の予定は以下のとおりです。

第1回 7月7日(木)

明治大学理工学部宮越哲雄名誉教授による講演。専門は化学で、特に漆の第一人者です。

第2回 9月1日(木)

薬師寺の僧侶、大谷徹英氏による講演。全国各地で法話行脚を行い、多くの著書があります。

第3回 10月27日(木)

元楽天副社長、本城慎之介氏による講演。会社経営の傍ら、若者の育成に尽力している方です。各界の著名人による講演ですので、どのような内容になるか今から楽しみです。

1年生も生徒会役員に

5月13日(金)に本年度の生徒会選挙(信任投票)が行われ、1年生からも9名が生徒会役員の一員として活動することになりました。相馬高校をさらに前進させるため尽力してほしいと思います。

総務局次長：門馬 史朗(5組)

会計局次長：荒 実結菜(2組)

学芸局次長：志藤 芽生(2組)

厚生局次長：佐藤 友香(2組)

監査委員：佐藤 知穂(2組)

監査委員：大井 里紗(2組)

監査委員：阿久津太一(3組)

監査委員：大河内美穂(4組)

監査委員：小野日菜津(5組)



知ってますか? 相高出身の著名人

折笠 晴秀：相中1期生。卒業生総代。東大医科卒。秩父宮侍医。

鈴木 安蔵：憲法学者。現行の「日本国憲法」の原案の原案を起草した人物。

今野源八郎：東京大学名誉教授。日本の高速道路網の基礎を作りました。

鎌田 正：東京教育大学名誉教授。「諸橋大漢和辞典」「広漢和辞典」の編纂者。

天野 秀延：関西学院大卒。作曲家。イタリア音楽研究で芸術線文部大臣賞受賞。

太田 秀通：東京都立大学名誉教授。西洋史学者。

植松 東：国立音楽大学学長。声楽。

河内 明夫：大阪市立大学数学研究所名誉所長。「結び目理論」の研究者として有名。

熊川 彰長：JAXA角田宇宙センターロケットエンジン技術センタ研究領域リーダー

井上 茂義：理学博士。ベルリン工科大学研究室主宰。

遠藤 新：建築家F. L. ライトの弟子として帝国ホテルを完成。

佐々木 昭：チェリスト。元東京交響楽団チェロ首席奏者。

山本 悦明：大阪フィルハーモニー交響楽団員。打楽器。

三浦 哲夫：画家。新象作家協会会員。

渡辺 雄彦：画家。日展審査員。宮城教育大学名誉教授。

反畑 秀彦：第20回世界卓球選手権スウェーデン大会全日本代表選手。

佐藤 哲夫：バレーボール選手。メキシコオリンピック銀、ミュンヘン金メダル。

鈴木 尚広：読売巨人軍野手。

酒井 大祐：バレーボール選手。V・プレミアリーグサントリーサンバース所属。

本田 俊介：NHK福島放送局アナウンサー